2. 成績評価について Grade criteria

○ 成績確認について

各自がインターネットにより成績の確認をすることになります。確認の方法は、「学務システムの手引き」http://kym.adm.okayama-u.ac.jp/inform/tebiki/menu02.html を参照してください。

また、上記の確認方法で単位修得状況以外に健康診断の結果や就職情報も閲覧できるようになっていますので、利用してください。

○大学院医歯薬学総合研究科における成績評価方法について

(1) 成績評価

成績評価は、100点を満点とし、60点以上を「合格」、59点以下を「不合格」とする。 評価の評語は、以下のとおりとする。ただし、授業科目によっては、その評価を「修了」又は 「不可」とすることができる。

A+ 90点以上

A 80~89点

B 70~79点

C 60~69点

F 59点以下

(2) 成績評価の基準

大学院医歯薬学総合研究科修士課程における成績評価は、授業科目終了時に行われる試験、講義等における発表・討議など授業への取組み、レポート、小テスト及び研究の成果等を総合的に評価して行う。この総合評価に基づき、60点以上を単位認定基準とする。

○「成績評価等に対する問合せ」の対応について

- (1) 学生は、成績評価等に対する疑問などがある場合には、授業担当教員又は教務担当係に対して成績評価の方法及び内容等について問い合わせることができる。
- (2) 授業担当教員等から十分な回答が得られない場合には、学務委員会に申し出ることができる。
- (3) 学務委員会は、上記の申し出があった場合は、調整等を行うものとする。

3. 研究指導について Research guidance

毎年度当初,全大学院生(休学者,留学者を除く)に対して,指導教授から1年間の研究指導計画が明示されることになっています。これは、学生の研究計画に基づき,指導教授が作成する研究指導計画書によります。

毎年度4月に各学生ごとの研究指導計画書(下記様式)のファイルを大学院係から各専攻分野に送付しますので、各自1年間の「研究計画」を記入し指導教授に提出してください。指導教授は、研究指導計画等を記入し学生に明示しますので、確認してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻 研究指導計画書 学生番号 学生氏名 専攻分野 課程 修士 年次 入学年度 平成 年度 年 月 卒業) 出身大学 学部 大学 学部 学科 (研究題目 研究計画 (学会発表,論文作成等を含む): 学生が記入 研究指導計画:指導教員が記入 究 指 道 計 画

31

4. 学位論文について Thesis

学位論文提出についての、学位申請要領(提出時期及び申請書類等の詳細)はホームページに掲載します。

○学位論文(修士論文)の評価基準

自ら推進した課題研究を論理的にまとめたものであり、多角的な評価に耐えうるものであること。

〈学位論文の要件〉

学位論文は、Thesis を原則とするが、査読制度のある欧文誌も可能である。

また、Thesis は単著とする。欧文誌は共著も可とするが、その場合は筆頭著者であることとする。

○修了認定の基準

- . 修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得していること
- . 研究指導を受けていること
- . 学位論文(修士論文)の審査及び最終試験に合格していること

課程修了の基準は、上記の修了に係る要件を満たすものとする。

ただし,在学期間に関しては,「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項」により承認された者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻早期修了に関する申合せ事項

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科規程第27条第1項に基づく岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 医歯科学専攻早期修了に係る優れた研究業績,申請資格及び審査は,次のとおりとする。

1 在学期間

修業見込年数が1年又は1年半の者とする。

2 「優れた研究業績を上げた者」として認められる者

査読制度のある雑誌に掲載された論文(掲載予定を含む)の筆頭又は共著者である等優れた業績を上げる見込みであることを指導教授が認める者で、引き続き本学大学院医歯薬学総合研究科博士課程に進学する者

3 早期修了申請資格の審査

早期修了を希望する場合は、次の書類により学務委員会の議を経て専攻会議において申請資格の審査を受けなければならない。

- ① 研究計画及び研究概要
- ② 单位修得状况確認表
- ③ 指導教授の推薦書
- ④ その他 (研究業績一覧等)

なお、審査に合格した場合は、2年次配当科目(医科学実習又は歯科学実習 4単位)を履修することができるものとする。

4 申請時期

早期修了資格審査の申請時期は、学位授与日により次の各月とする。

学位授与日	申請期限
3月25日	8月末日
9月30日	1月末日

5 学位申請及び審査

審査に合格した場合の学位申請は、医歯科学専攻学位申請要領による。

3. 成績評価基準等 Grade criteria

大学院医歯薬学総合研究科博士課程における成績評価方法について

The grade assessment method of the Doctor's Course

(1) 成績評価 Marks

成績評価は、100点を満点とし、60点以上を「合格」、59点以下を「不合格」とする。 評価の評語は、以下のとおりとする。ただし、授業科目によっては、その評価を「修了」又は「不可」とすることができる。

100 points is perfect. 60 points or more are deemed "Pass" and 59 and below "Failure". Marks are shown below, however, depending on class subjects, provided some marks might be described as "Complete" or "Failure".

A+	90点以上	90 points or more
A	80~89点	80-89 points
В	70~79点	70-79 points
C	60~69点	60-69 points
F	60点未満	less than 60

(2) 成績評価の基準 Standard of grade appraisal

大学院医歯薬学総合研究科博士課程における成績評価は、授業科目終了時に行われる試験、講義等における発表・討議など授業への取組み、レポート、小テスト及び研究の成果等を総合的に評価して行う。この総合評価に基づき、60点以上を単位認定基準とする。

The grade is assessed in a comprehensive manner, based on an examination given at the end of the subject, involvement in classes, including presentations and discussions, reports, and small quizzes as well as the results of a research project. Based on this comprehensive assessment, 60 and more is the standard for accreditation of credits.

「成績評価等に対する問合せ」の対応について Inquiries regarding grades and other matters

(1) 学生は、成績評価等に対する疑問などがある場合には、授業担当教員又は教務担当係に対して 成績評価の方法及び内容等について問い合わせることができる。

Students can ask questions to their instructors or the Education Affairs Office with regards to the methods and content of grade assessment.

- (2) 授業担当教員等から十分な回答が得られない場合には、学務委員会に申し出ることができる。 In the event they do not get satisfactory answers, regarding the scores, from the instructor in charge of a class, students may bring it to the attention of the Education Board.
- (3) 学務委員会は、上記の申し出があった場合は、調整等を行うものとする。

The Education Board shall coordinate with the parties concerned when the above request is made.

4. 研究指導について Research guidance

毎年,全大学院生(休学者,留学者を除く)に対して,指導教授から1年間の研究指導計画が明示されることになっています。これは、学生が作成する研究計画に対し、指導教授が研究指導計画を作成することによります。

医歯薬学総合研究科では、「大学院生教育指導カード (e-GRAD)」を利用して実施することになりました。指導教授を通して研究計画の作成依頼をおこないますので、指導教授との研究打合せの一助としてください。

Every year, Doctor's Course students, excluding students who are on a temporary leave from school and those studying abroad, are supposed to receive a research guidance plan for that year from their supervisors. This is a plan the supervisor creates to provide guidance based on a research plan students develop.

For this purpose, a guidance plan has been implemented through the use of the "Educational Guidance Card for Graduate Students (e-GRAD)". A request to develop a research plan is made via your supervisor. We hope that the card will serve you as a tool in assisting your discussions with your supervisor about your research.

■E-GRAD Webページ E-GRAD Website

「岡山大学医歯薬学総合研究科 博士課程大学院生へのお知らせ」より入ることができます。

ID・パスワードでのログインが必要

E-GRAD Website can be accessed through the "Notice to Doctor's Course students" of Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences.

ID and a password are necessary for log in.

http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/menu03/index02.HTM

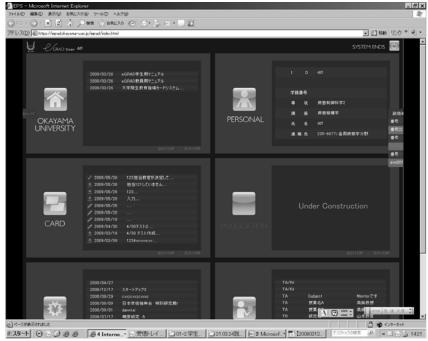
■ログイン画面で利用する認証 ID 及びパスワード: ID and password to be used on a log-in screen.

総合情報基盤センターに登録している ID・パスワード

(入学時オリエンテーションで配付している「パスワード通知書」に記載のもの)

These are the ID and the password that students have registered at the Information Technology Center.

(They are written on the "Password Notification" distributed during the orientation after admission.)



5. 学位論文の評価基準等 Course requirements for the Doctor's Degree

学位論文の評価基準 Criteria for the main reference of the dissertation

学位論文は査読制度のある学術雑誌に掲載(掲載予定を含む)されたもの又は掲載された内容を含むものであるなど、それぞれの専門分野において評価を受け、認められているものであることを基準とする。 なお、学位論文は各学系の要件を満たさなければならない。

The main reference of the dissertation should be published (or accepted for publication) in a peer-reviewed scientific journal, and should be highly evaluated in a certain scientific field. Faculties of Medicine or Dentistry set special requirements.

- ■学位論文(医学系)Requirements for dissertation in Medicine Division of Doctor's Course 学位論文は自著論文とし、単著であることを原則とする。ただし、共著のものも次の条件を充たすものは認められる。
 - (1)学位論文申請者が筆頭者であり、共著者数は内容に見合った数で且つ10名以内が望ましい。 申請者を除いた共著者数が11名以上の場合は、指導教授の理由書を添付すること。
 - (2) 掲載誌は、[Current Contents] [Embase] [Index for Medline] のいずれかに集録された欧文誌に限る。
 - (3) 学位論文とすることに対する共著者全員の承諾書を添付すること

In principle, the applicant should be the single author of the main reference. If the following conditions are met, however, a co-authored paper will be approved as the main reference.

- (1) The applicant is the first author. The number of co-authors should be reasonable for the content of the paper and preferably be 10 or less. If the number is 11 or more in addition to the applicant, a statement of the reason by the supervisor should be attached.
- (2) Journals that the main reference is to be published in should be limited to those in an European language that are compiled in one of "Current Contents", "Embase" or "Index for Medline".
- (3) Letters of acceptance should be attached stating that all co-authors agree to use the paper as the reference of the applicant's dissertation.
- ■学位論文(歯学系)Requirements for dissertation in Dentistry Division of Doctor's Course 学位論文は自著であって,論文の内容が学術雑誌に印刷公表されたもの,又は学術雑誌に投稿中であって,掲載証明書のあるものに限る。

学位論文の形式は、次の項目のいずれかに該当するものとする。

- 一 単著論文
- 二 学術雑誌に公表したいくつかの論文(共著論文を含む)の内容をまとめて,単著論文(但し自費製本)としたもの
- 三 医歯学総合研究科教授会歯学系会議(以下「歯学系会議」という。)で認めた国際的な学術雑誌に掲載された共著論文

(但し英語論文で、原則として筆頭著者でなければならない)又はこれに修正等を加えて、単著論文(但し自費製本)としたもの

ただし、共著論文で学位を申請する場合、1論文1回限りとして、共著者の同意を得たものでなければならない。

Applicant must assume the responsibility for his/her doctor's dissertation, for which the paper(s) has (have) been published or accepted for publication in academic journal.

A dissertation must fulfill one of the following criteria.

1. Single-authored paper

- 2. Thesis based upon several papers including co-authored paper(s). The papers include at least one first-authored paper that was published in a peer-reviewed journal.
- 3. The first-authored paper written in English and published in an "international academic journal", which is approved by the professorate of the Dentistry Division, the Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences. Or, applicant could modify the paper as a single-authored paper. One paper can be used only once as a doctoral dissertation, and all the co-authors must agree to the proposal.

修了認定の基準 Course requirements for the Doctor's Degree

- ・博士課程に4年以上在学し、30単位以上を修得していること
- ・研究指導を受けていること
- ・学位論文の審査及び最終試験に合格していること

課程修了の基準は、上記の修了に係る要件を満たすものとする。ただし、在学期間に関しては、「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修業年限の特例(4年未満修了)に関する申合せ事項」により承認された者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

- -A student must be enrolled in a Doctor's course for 4 years or more and must have attained 30 credits or more.
- He/she must have been under the research guidance.
- He/she must have passed a dissertation review and the final examination.

To complete the course, the above requirements must be fulfilled. However, with regards to the duration of enrollment, more than three years of enrollment in the course is sufficient for those students who are admitted according to the "Agreement on the special course term of less than 4 years at Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences".

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修業年限の特例(4年未満修了)に関する申合せ事項

Agreement on the special course term of less than four years at Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程の学位授与に関する内規第9条に基づき、岡山大学大学院学則第36条第3項に規定する「在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。」に係る学位申請及び審査については、下記のとおり取り扱うものとする。

Based on Article 9 of the internal regulations regarding granting a degree to Doctor's course students of Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences, a degree application and review should be processed as described below when the following statement specified by Article 36 Item 3 of the code of Okayama University Graduate School is fulfilled: "a student who has achieved an outstanding research performance will be adequate to apply for the special course term of three years or more".

1 要件 Requirements

- (1) 修業見込年数が3年又は3年半の者について取り扱う。
- (2) 学位申請論文は、次の各号に該当するものとする。
 - ① 単著又は共著。ただし、共著の場合は筆頭著者であること。
 - ② 著名な英文誌に掲載され、かつ、学位論文として完成された形と内容を持つこと。 なお、著名な英文誌とは、原則としてIF3.0以上のものとする。IF3.0未満の場合は理由書により学務委員会において審議するものとする。
 - ③ 共著の場合は、指導教授又は直接指導者(本研究科所属教員)1名以上が含まれていること。
- (1) Course term of three years or three and a half years is applicable.
- (2) The main reference of the dissertation should fulfill the below categories.
 - 1) Single-authored or co-authored. In case of co-authored paper, the applicant must be the first author.
 - 2) The main reference of the dissertation must have been published in a distinguished journal in the English language and must have a format and content as accomplished as it needs to be as a dissertation work.
 - The definition of "a distinguished journal" is, in principle, IF 3.0 or more. If it is less than IF3.0, a statement of the reason should be submitted to the Education Board for review.
 - 3) In case of a co-authored paper, one or more supervisors or instructors who directly provide guidance (a faculty of the graduate school) should be included.

2 学位申請資格の審査 Review of the eligibility for a degree application

前項の要件を満たした者が学位申請をしようとする場合は、次の書類を提出し、学務委員会において 学位申請資格の審査を受けなければならない。

提出書類

- ① 主論文
- ② 主論文が未発表の場合は、掲載予定証明書
- ③ 履歴書
- ④ 研究業績一覧
- ⑤ 指導教授の推薦書

When a student fulfilling the aforementioned requirements wants to apply for a degree, he/she should submit the following documents and undergo review by the Education Board on his/her eligibility for a degree application.

documents to be submitted:

- 1) The main reference of the dissertation
- 2) Certificate of an intended publication if the main reference is not yet published.
- 3) Curriculum vitae
- 4) List of publications
- 5) Letter of recommendation by the supervisor

3 申請時期 Applications period

学位申請資格審査の申請時期は,学位授与日により次の各月とする。

The period for degree applications are shown below.

学位授与日 Commencement	申請月	Application months
9月30日 September 30	5~6月	May-June
3月25日 March 25	11~12月	November-December